

2019.03.15

InterRisk Thai Report <2019 No.05>

タイの台風リスク

【要旨】

- タイにおいても頻度は低いものの台風による大きな被害が発生しています。
- タイ南部に上陸して多数の死傷者が生じる台風と、タイ北東部、北部を通過してチャオプラヤ川流域に大雨をもたらす台風に注意が必要です。

1. タイで発生した台風被害

1962年以降、タイでは2019年1月のPabukを含めて19の台風で死者が発生しています。下表にそれらの台風の発生年月、台風名および被害概要をまとめます。

表1 1962年以降タイで死者が発生した台風（出典：EM-DAT の情報を編集）

	発生年	発生月	台風名	死者数	負傷者、避難者など	経済損失 (US\$)
1	1962	10月	Harriet	769	-	19,000,000
2	1989	11月	Gay	458	199,000	452,000,000
3	1990	10月	Ira	36	-	50,000,000
4	1991	8月	-	38	1,894,238	8,323,000
5	1992	11月	Forest	3	119,787	-
6	1992	10月	Angela	3	106,109	-
7	1993	7月	Lewis	4	188,448	106,900,000
8	1994	8月	Harry	10	-	12,000,000
9	1994	7月	Amy	9	10,000	8,000,000
10	1995	8月	-	27	-	-
11	1996	7月	Gloria and Frankie	9	343,386	150,000,000
12	1997	8月	Zita	46	50,394	39,500,000
13	1997	10月	Linda	152	-	5,000,000
14	2000	8月	Kaemi	2	41,219	-
15	2004	6月	Chanthu	1	4,000	-
16	2005	9月	Damrey	10	2,000	20,000,000
17	2011	8月	Nock-ten	18	1,000,000	-
18	2015	9月	Vamco	3	-	561,000
19	2019	1月	Pabuk	7	720,885	-

次ページに死者が発生した台風の発生年と発生月を示します。タイにおいて台風により大きな被害が生じる頻度は高くないといえます。また、台風被害が生じるのは雨季の6～11月に多く、2019年1月初旬、タイ南部に上陸し7名が死亡するなど大きな被害が生じた台風 Pabuk は非常に珍しい現象でした。

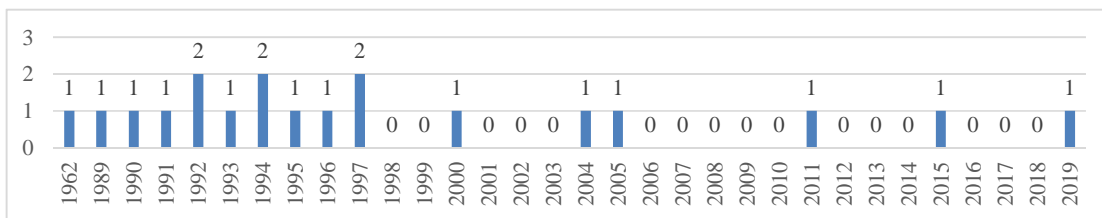


図1 死者が発生した台風の発生年と発生数（1962～2019年）

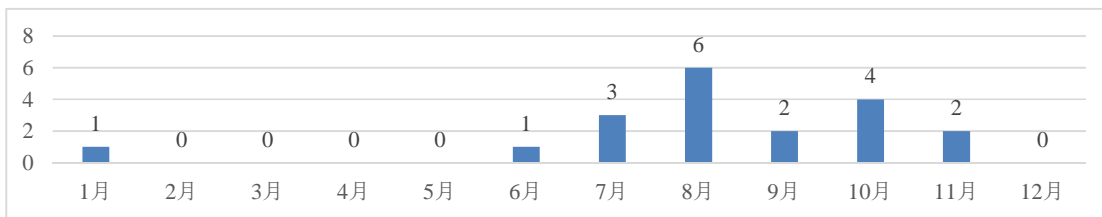


図2 死者が発生した台風の発生月（1962～2019年）

2. 甚大な被害が発生した台風の概要

特に大きな被害が生じた台風 Harriet（1962年）、Gay（1989年）、Linda（1997年）の概要を以下にまとめます。

(1) 台風 Harriet（1962年）

1962年10月19日にフィリピン西部で発生した台風 Harriet は南シナ海を南西に進み、ベトナム南方沖を通過した後タイ湾に侵入、10月25日にタイ南部の Nakhon Si Thammarat 県に上陸しました。最大風速は95km/時（約26m/秒）で、タイに上陸した翌日の10月26日にはインド洋に抜け、10月27日に温帯低気圧になりました。主に強風が原因で発生した死者は750名以上、負傷者は250名程度に上り、1,000名以上の住民が家屋を失いました。

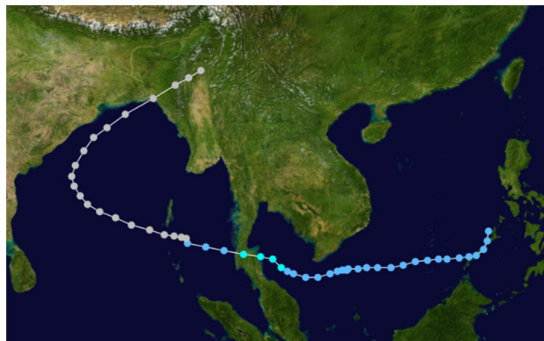


図3 台風 Harriet の進路（出典：Wikipedia）

(2) 台風 Gay（1989年）

1989年11月1日、ベトナム南方沖のタイ湾で発達した熱帯低気圧は11月3日に台風となり、最大風速185km/時（約51m/秒）の強風を伴って11月4日にタイ南部の Chunphon 県へ上陸しました。台風 Gay は急速に発達したため気象機関からの警告が遅れ、タイ湾の沖合いでは石油掘削船を含む多数の船が10m程度の波を受けて沈没しました。また、内陸部では強風や大雨による土砂災害、鉄砲水によって多くの死者や家屋の倒壊が生じました。一部の調査では、沖合い、内陸部を合わせ、タイだけで800名以上が死亡したとの報告もあります。



図4 台風 Gay の進路（出典：Wikipedia）

台風 Gay はタイ南部を横断した後、インド洋でもさらに発達し、11月8日には最大風速260km/時（約72m/秒）の猛烈な台風となってインドに上陸しました。インドでは約70名が死亡、20,000棟を超える

家屋が損壊するなど大きな被害が発生しました。

(3) 台風 Linda (1997 年)

1997 年 10 月 26 日にフィリピン東部で発達した低気圧は 10 月 31 日に台風 Linda となって南シナ海を西に進み、11 月 2 日に最大風速 100km/時(約 28m/秒)の強風を伴ってベトナム南部に上陸しました。ベトナムでは 3,000 名以上が死亡、200,000 棟もの住居が損壊し、多くの農地も被害を受けました。

ベトナムを通過した後、タイ湾を西に進んだ台風 Linda は最大風速 100km/時(約 28m/秒)を維持したまま 11 月 3 日にタイ南部へ上陸し、高波や大雨による土砂災害、鉄砲水によって、沖合い、内陸部を合わせて 150 名以上が死亡しました。タイにおいてもベトナムと同様、多くの農地で被害が生じています。



図 5 台風 Linda の進路 (出典 : Wikipedia)

3. 2011 年タイ洪水の原因となった台風

2011 年にタイで発生した大洪水は、5 月から 9 月にかけてタイ北部、北東部、中央部に降った大雨によって引き起こされましたが、この大雨の原因の一つがタイ北東部・北部を襲ったいくつかの台風でした。2011 年、タイに襲来し大雨をもたらした代表的な台風である Haima、Nock-ten、Nesat の進路図と降雨分布を下図に示します。

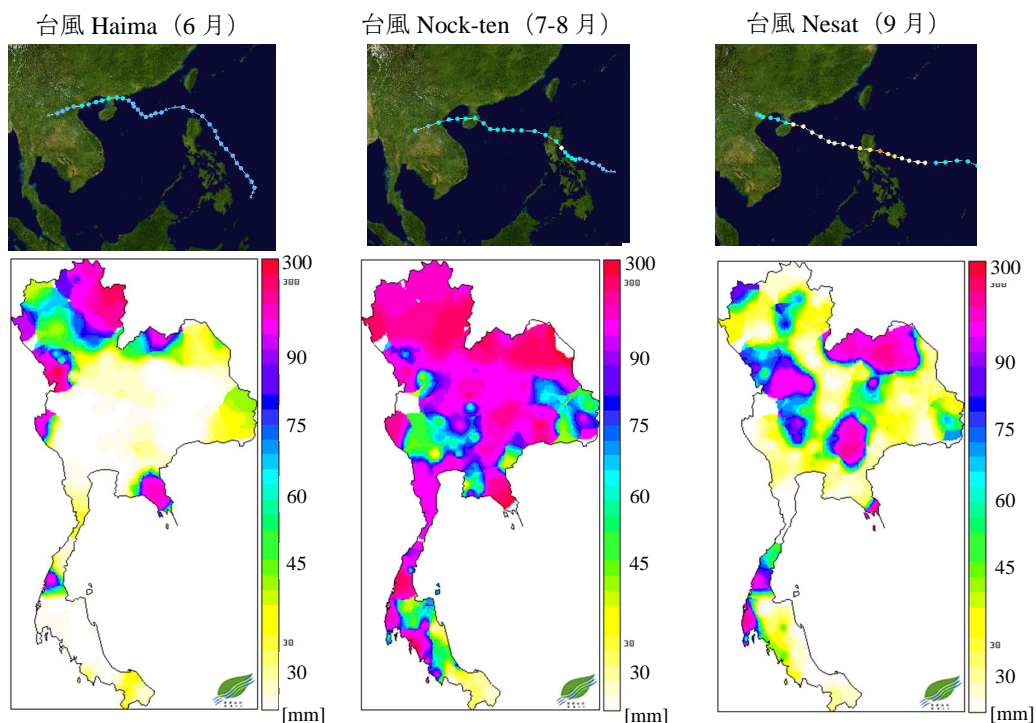


図 6 2011 年の代表的な台風 (Haima、Nock-ten、Nesat) の進路図と降雨分布 (出典 : Wikipedia、NASA)

これらの台風は Harriet、Gay、Linda とは異なりタイの北東部・北部を通過してチャオプラヤ川流域に大雨をもたらしました。チャオプラヤ川の下流域にはアユタヤからタイ湾にかけて多くの工業団地が集積しており、同河川の氾濫によって甚大な被害が発生しました。

4. タイの台風リスク

タイに被害をもたらす台風は、タイ湾に侵入しタイ南部に上陸する台風（下図①）と、タイ北東部・北部に襲来しチャオプラヤ川流域に大雨をもたらす台風（下図②）の 2 種類に大きく分類することができます。



② タイ北東部・北部の降雨量増大

① タイ湾・タイ南部を直撃

図7 タイに被害をもたらす台風の進路（出典：Freeworldmap.net）

表 1 に示した台風を上記①、②に分類すると、タイ南部に上陸した台風（上記①）は計 6 回で死者 1,392 名、タイ北東部・北部に襲来した台風（上記②）は計 11 回で死者 148 名です。

表 2 死者が発生した台風の進路による分類

①タイ南部に上陸				②タイ北東部を襲来			
発生年	台風名	死者数	経済損失 (US\$)	発生年	台風名	死者数	経済損失 (US\$)
1962	Harriet	769	19,000,000	1990	Ira	36	50,000,000
1989	Gay	458	452,000,000	1993	Lewis	4	106,900,000
1992	Forest	3	-	1994	Harry	10	12,000,000
1992	Angela	3	-	1994	Amy	9	8,000,000
1997	Linda	152	5,000,000	1996	Gloria and Frankie	9	150,000,000
2019	Pabuk	7	-	1997	Zita	46	39,500,000
				2000	Kaemi	2	-
				2004	Chanthu	1	-
				2005	Damrey	10	20,000,000
				2011	Nock-ten	18	-
				2015	Vamco	3	561,000

タイ湾を直撃しタイ南部に上陸する台風は Harriet、Gay、Linda で非常に大きな被害が発生したため印象が強く、今年の台風 Pabuk も上陸前から大きなニュースになりました。しかしながら、タイ北東部・北部を直撃する台風の方が頻度が高く、多額の経済損失も発生しています。また、チャオプラヤ

川流域の大雨は多くの日本企業が所在し、多くの日本人が生活するエリアの洪水リスクを著しく高める可能性がありますので注意が必要です。

以上

執筆者：InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd. 佐藤 公紀

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road,Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2019